

真夜中も騒音地獄無制限！

小泉市長が「23時」の制限緩和を周辺市町に提案 ——カネ儲けに走るLCCに便宜供与

住民の生活のことなどまったく考えない、度し難い提案を小泉市長が始めています。その提案とは、「23時の飛行制限について、弾力的な運用を考えたい」（8・29 記者会見）というもの。要するに、「真夜中の飛行制限を取り払い、23時をこえても飛行機を飛ばせるようにしろ」というのです。

ことの始まりは運行を開始したLCC（格安航空）の、あいつぐ欠航問題。たとえばジェットスター・ジャパンは7月3日の初日に遅れが続き、新千歳からの最終便が成田の門限に間に合わず欠航しました。その後も欠航や目的地の変更があいついでいます。もちろん、その原因は成田の時間制限ではなく、命よりもカネを優先するLCCの無謀な運航計画にあることは明白です！

LCC＝命よりもカネ優先競争社会にひそむ危険

たとえば、ジェットスター・ジャパンの場合、成田ー福岡、成田ー新千歳、成田ー那覇の路線を、たった3機を使い回して運行しています。滞在時間はわずか30分、乗客を乗せたまま給油し、成田にしか整備士はいません。「成田ー新千歳 4580円」を宣伝するエアアジア・ジャパンも推して知るべしです。

安全無視の格安料金でカネもうけに走るLCCと、その誘致に必死の成田空港。その空港が落とす税金と補助金に、依存する成田市！「原子カムラ」ならぬ「空港ムラ」の利権構造の前に、住民と乗員・乗客の命が危険にさらされる。本当に大事なものは何か、——考えるべきです！

(9月5日)

10・7集会に来て下さい！

“空港ムラ”の

いま成田空港の飛行時間は、早朝6時から真夜中の23時までの17時間に制限されています。

でも空港直近の東峰地区の騒音レベルが、ガード下なみの120デシベルであることはご存知でしょうか。制限緩和など、絶対に認めることはできません。

悪政を許すな！

飛行直下の騒音地帯は例外なく、早朝・深夜の大騒音に苦しめられています。制限緩和の次にくるのは「24時間空港」です。許してはなりません。

10月7日、私たちは空港予定地の畑を会場にして集会を開きます。被災地・福島やオスプレイに反対する沖縄からも参加し、反原発・反TPP、基地と空港、農地取り上げに反対します。どなたも参加できる集会です。来て下さい！

第3誘導路粉碎・市東さんの農地を守ろう！
フクシマ連帯・原発再稼働許すな！
TPP（環太平洋経済連携協定）反対！
軍事空港粉碎・改悪阻止！

10・7全国総決起集会

【日時】10月7日（日）正午
【会場】成田市東峰 反対同盟農所有畑
【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟

*Jリニエーターバスが便利です

